

科目区分	統合分野			科目番号	1203	曜日時間	不定期
授業科目	在宅看護援助論Ⅱ						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義
担当教員							
授業目的	在宅看護に必要な看護技術と対象の状況や状態に応じた看護が理解できる。						
中核	生活の場における援助の応用						
授業目標	1. 在宅看護の実際を理解できる。 2. 生活を支える在宅看護技術を理解できる。 3. 在宅療養者の状態・状況に合わせた看護が理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	8	I. 在宅看護の展開について II. 生活を支える在宅看護技術 食べること／トイレに行くことを支援する きれいにすること／動くことを支援する III. 医療管理を必要とする在宅看護技術 経管栄養法(胃瘻・中心静脈栄養法) 膀胱留置カテーテル／ストーマケア 酸素療養(非侵襲的陽圧換気・人工呼吸器管理) 薬物管理(服薬管理(麻薬管理)・輸液管理) 褥瘡管理【デモンストレーション】 褥瘡処置 IV. まとめ・評価		16			
	8	I. 在宅看護の実際 (介入時期の特徴) II. 在宅療養者の状態・状況に合わせた看護 難病のある療養者への看護 小児の療養者への看護 精神障害のある療養者への看護 独居療養者/認知症療養者への看護 機能低下予防・再発予防が必要な療養者への看護 リハビリテーション期にある療養者への看護 終末期にある療養者への看護 死後の処置【デモンストレーション】 III. まとめ・評価	講義	16			
終了後課題	各講師の指示に従う						
評価計画方法	筆記試験100% (各50%)						
テキスト参考図書	櫻井尚子他編：ナーシング・グラフィカ在宅看護論① 地域療養を支えるケア，メディカ出版 参考) 河原 加代子著：統合分野 在宅看護論，医学書院						
実務歴有							
講義への反映							
備考	リフレクションノートおよびポートフォリオ用のクリアファイル等は各自準備すること						